

第 7 回 村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 会議録

日 時	令和 3 年 3 月 29 日 (月) 午後 3 時～午後 5 時 20 分
場 所	東海村役場 101・102 会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・各村立幼稚園職員 (8 名) ・村立保育所及びこども園職員 (3 名) ・指導室 (1 名) ・子育て支援課 (4 名)
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 子育て支援課長挨拶 3. 議事 「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方【1】」に対するご意見について 4. その他 今後の協議・検討体制について 5. 閉会

1. 開会

2. 子育て支援課長挨拶

3. 議事

「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方【1】」に対するご意見について

- ・これまでの協議結果を踏まえた、村としての「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方【1】」を公表するとともに、令和 3 年 2 月 26 日から 3 月 12 日にかけて意見を募集した。
- ・いただいたご意見は全部で 29 件。ご意見の概要及びそれに対する村の考え方については、村公式ホームページで公表する予定である。
- ・4 月下旬に開催する意見交換会に向けて、考え方【1】及び【2】に対していただいたご意見を考慮し、「村立幼稚園再編に向けた対応方針（案）」を作成するにあたって、改めてワーキング・チーム会議で村の考え方を確認する。

(1) 再編までの期間の入園先について

- ・ご意見に対する村の考え方については意見なし。
- ※とうかい村松宿こども園の学区外入園枠（幼稚園枠）については、令和 4 年度の園児募集から拡大する方向で検討中。

(2) 登降園時の交通手段について

- ・通園が困難な家庭へ交通手段を確保するという点は良いが、ワーキング・チーム会議で村立幼稚園の園児数が減っている理由について話し合った際に、「園バスを出せば入園希望者は増えるのではないか」という意見もあった。

- ・送迎対象者は、通園が困難な家庭のみで良い。希望者すべてを対象とすると、車両の大きさや台数によってコストが増える。車両にコストをかけるのではなく、教育面にお金を使ったほうが良い。それを魅力とを感じる家庭もあるのではないか。
- ・送迎対象者を「通園が困難な家庭のみ」とすると、「渋滞や周辺住民への迷惑を考えると、バスを配車したほうが良い」という意見を持つ保護者に、どう説明したら良いか分からない。
- ・通園が困難な家庭のほかに、送迎利用希望者を全て受け入れる場合、敷地やバス台数の確保のほかに、保護者が直接子どもの様子を見たり、先生とのコミュニケーションを取ったりする機会が少なくなってしまう問題がある。ワーキング・チーム会議や保護者からの意見でも出た、アプリを使った連絡帳機能の活用など、新たなコミュニケーション方法^{*}の検討も必要になる。
(^{*}2 頁<その他の意見>を参照)
- ・乗車時間については、30 分程度は乗っていただけると思う。支援を要する子や年齢など個々の状況にもよるが、乗車時間は短いに越したことはない。
- ・考え方【1】では「乗車場所は学区ごとに 1 か所程度」としているが、30 分程度で回れるのであれば、乗車場所が複数あってもいいのではないか。
- ・保育参観などの行事の際にも、完全に通園手段がない家庭に対する検討が必要である。
- ・親子での送迎車両への乗車を認めた場合でも、職員の添乗は必要である。
- ・親子での送迎車両への乗車は、「あのお母さんはバスに乗れるのに、自分のお母さんはなぜ乗れないの」というような子どもの気持ちを考えるとどうか。「安心して先生に預けてください」というシステムにしたほうが良い。

(3) 村松幼稚園の駐車場の確保・周辺の安全対策について

- ・統合によって大規模化するというよりは、5～6 年前（平成 26 年頃）と同規模になる。当時は 3 歳児が時差での登降園だったが、新たな駐車場を確保して送迎車両の分散ができるか、時差での登降園をする必要があるのか。時差登園の実施の可否については、駐車場の使い方を含めて、今後の運用の中で総合的に検討していく必要がある。
- ・周辺の安全対策については、駐車場の通行ルールや交通マナーの徹底などの対応を考えていかなければならない。
- ・一部の地域の方からは、「子どもたちのためにできることがあれば協力したい」という声もいただいている。

<その他の意見> 新たなコミュニケーション方法について

●ドキュメンテーションの実施

- ・園での子どもの様子を保護者に伝える、写真つきの日々の活動記録としてまとめた掲示物。
- ・情報の取扱い方法の周知（SNS への掲載禁止等）や子どもの写真の掲載回数などへの配慮が必要。
- ・既に実施している園もあるが、時間的制約や職員体制についても考慮する必要がある。

●連絡帳機能を持つアプリの活用（令和 3 年度～けやきの杜保育所にて「コドモン」を試験的に導入）

- ・文字や写真で園と保護者との連絡が可能になるアプリ。
- ・パソコンやタブレット等の機器の整備や職員の IT スキルの向上、職員体制確保についても考慮する

必要がある。

- ・スマートフォンを持たない家庭へは、別途文書での対応が必要となる。

4. その他

今後の協議・検討体制について

- ・今後は少人数のグループに分かれて協議をしていくことも必要かと考えている。協議には現在幼稚園で勤めている先生だけでなく、保育所やこども園、指導室も含めて、それぞれの立場や経験を活かしたメンバー構成にしたりすると、深みのある検討ができるのではないかと考えている。

<まとめ>

- ・次回は、「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方【2】」について、今回と同様に協議する。
なお、協議内容の継続性から、次回は令和2年度のメンバーで行う。

5. 閉会